

## 2020-2021年度地区運営について

### <重点実行項目>

- 1 クラブのサポートと強化  
若い会員の増強と参加を促進する。  
会員の多様性を確保するため職業分類表の活用を推奨する。  
次世代リーダーの育成のための機会を創る。(地区セミナーへの参加推奨、クラブ内研修の支援等)  
新会員セミナーへの参加促進のため、日程の異なる地区内3箇所で開催する。  
各クラブは、ロータリー賞受賞を目指す。
- 2 ロータリー財団補助金を活用した奉仕活動  
全てのクラブで地区補助金活用事業を申請するよう奨励する。  
全ての分区でグローバル補助金活用事業を申請できるよう奨励・支援する。  
地区主導のグローバル補助金事業を申請するよう検討する。  
ポリオ根絶に向けた支援を継続促進する。
- 3 中核的価値観を強調した公共イメージの向上  
ロータリアン各人が5つの中核的価値観：奉仕、親睦、多様性、高潔性、リーダーシップを自らの個人生活・職業生活・社会生活に体現し、ロータリーの公共イメージの向上に寄与できるよう努める。
- 4 日本のロータリー 100周年記念IMの開催  
各分区(合同開催も可)ごとにIMを開催し、日本のロータリー 100周年を祝うとともに、これからのクラブや奉仕活動のあり方について語り合う。
- 5 「クラブ活性化ワークショップ」の開催  
会員組織強化委員会、公共イメージ委員会、ロータリー財団委員会共催で、「クラブ活性化ワークショップ」を開催する。(2020年8月30日予定)
- 6 「奉仕の理念実践セミナー」の開催  
地区内クラブの奉仕実践の優れた事例を共有し、ロータリーの目的である「奉仕の理念」とその実践の意義を考える「奉仕の理念実践セミナー」を開催する。  
職業奉仕・国際奉仕・地域社会奉仕委員会が主管する。(2021年2月23日予定)
- 7 環境保全活動の計画と実行  
地球上の社会的課題である環境保全について良いことを考え、個人、クラブ、地区で率先して実践する。
- 8 数値目標  
各クラブ会員純増1名以上  
寄付   ロータリー財団に毎年   一人150ドル以上  
        ポリオプラス基金に毎年   一人 30ドル以上  
        米山記念奨学会に毎年   一人16,000円以上